

「ブラジル遠征は貴重な経験」



来伯した選手団とあしなが育英会関係者たち

サッカー日本女子ユース東北選抜(以下「選手団」、東日本大震災で親を亡くした子どもたち以下「遺児」)を救済する募金キャンペーンを行っている「あしなが育英会」(玉井義臣会長)の関係者が27日に来伯し、同29日に聖市リベルターデ区の宮城県人会館で記者会見を行った。玉井会長や選手団長として同行した日本女子サッカーリーグの田口福則専務理事らが来伯の目的や今後の活動について語った。

選手団は高校1、2 英会は玉井会長以下日本人の選手16人をはじめ、一行は同育英会が建設監督やコーチなど総勢22 人のチームを結成、同育英会を計画している遺児の施設「東北レイク・ポニーハウス」(紅の家)のための募金提供を呼びかけている。同施設は、遺児の心のケアを提供する施設となつたの運用を目的としており、建設費は約25億円で、内訳は建設費25億円に加え、5年間の運用費として毎年2億円を計上している。

2月29日現在、建設費の口座には約17億円の用意できているという。そのため、残り約1億円の支援提供を国内外関係者に呼びかけている。世界中で募つておられる方、これまでアメリカ、ニュージーランド、オーストラリア、中国の大陸、フランスのバリで募金活動を行ってきた。会見で「あしなが育英会」の代表、玉井会長は「あしなが育英会」の代表として来伯し、遺児の心のケアをすることを目的としており、建設費は約25億円で、内訳は建設費25億円に加え、5年間の運用費として毎年2億円を計上している。

サッカー日本東北選抜が来伯 遺児を癒す施設建設のための支援を

遺児への対応として「あしなが育英会」の代表、玉井会長は「あしなが育英会」の代表として来伯し、遺児の心のケアをすることを目的としており、建設費は約25億円で、内訳は建設費25億円に加え、5年間の運用費として毎年2億円を計上している。

遺児への対応として「あしなが育英会」の代表、玉井会長は「あしなが育英会」の代表として来伯し、遺児の心のケアをすることを目的としており、建設費は約25億円で、内訳は建設費25億円に加え、5年間の運用費として毎年2億円を計上している。



来伯した選手団とあしなが育英会関係者たち

「素晴らしい踊り披露したい」本場よさこいチームが伯国視

7月に聖市で開催される「第10回よさこい」の開催に、よさこい発祥の地である札幌市から初めて日本のおよそ100名の踊り手が参加する。よさこい発祥の地である札幌市から初めて日本のおよそ100名の踊り手が参加する。よさこい発祥の地である札幌市から初めて日本のおよそ100名の踊り手が参加する。

なでしこユースが来伯!



選手団と関係者(前列中央が玉井会長)の皆さん

あしなが育英会が支援要請

昨年見事世界一に輝いた日本女子サッカー代表チーム「なでしこジャパン」のユース(18歳未満)が、大震災支援に「貢献」を。東京に本部を置き、国内外の遺児を支援している非営利組織「あしなが育英会」(玉井義臣会長)が計画する、震災で親を亡くした子供達の心のケアをする施設「東北レイク・ポニーハウス」の建設費用捻出を目的に、日本の女子サッカーユースがブラジルのチームと聖市で親善試合を行うにあたり、選手団、全面協力した日本サッカー協会や同会の関係者ら総勢33人が27日に来伯、29日に宮城県入会場で記者会見を行った。日本の女子サッカーチームのブラジル遠征は史上初だ。

初の日本女子サッカー試合 2、4日に聖市でキックオフ 「震災遺児救う施設を」

選手は16人、全日本女子サッカー選手権大会で、高校生チームながら3位に輝いた宮城県仙台市の常盤木学園、聖稗学園、JFAアカデミー福島などに所属する、宮城県出身の17歳以下の選手が揃った。チームの中には自宅が津波に壊された親族を亡くした選手もいる。自宅が被災し、貧乏生活やおぼろげな生活を送っている選手は八幡宮高校2年生の八幡宮あづささん(17、石巻市)は、「辛い思いをしたが震災後もサッカーができて、ブラジルの遠征に来られて嬉しい。勝てるようにしっかりとプレーしたい」と挨拶した。

本報の取材に対して、「貴重な経験。ブラジルの選手は素晴らしい。自分たちの選手は、小柄な私たちでもできることがある」とも話した。

建設いつから? SUS病院 菊地会長「6月末に部分開業 援協定例役員会」

見取りが想定されたが、菊地会長は「高層だったため、6月3日には、設計図の修正を非でもプレイングラン、各専門委員会からの報告で、サンミゲル・アルカリアンジョ市に建設予定のSUS聖市病院建設委員会が、まだ建設会社から、まだ建設会社はじ

漢字ファンの人が多いのか、し「友情」「愛」を贈る。半年ほど前、特に親日家という自慢も、自慢も、午後3時、聖市のムスタジウム(Mustajum, 131 Tiraqueira, 131 Tiraqueira)で、対戦チームは次の通り。入場無料。2日(対戦)は、スタジアム(Stadium, 117, Moezel)で、

来、聖市選手団の準備青年大会は年齢別に幼年、少年、少女、男子、女子、それぞれ開催された。

勝を争った。子供たちの取組、大会は年齢別に幼年、少年、少女、男子、女子、それぞれ開催された。

ひがしにっぽん
東日本
だいしんさい
大震災

コロニアから復興の祈り

『日伯友好連帯月間』で

文化事業、法要、ミサも

東日本大震災の発生から1年を迎える3月、在聖総領事館、国際交流基金サンパウロ日本文化センターは「東日本大震災一周年、日伯友好連帯月間」として、様々な文化事業を実施する。また、日赤と連帯による「慰霊ミサ」(10日)、サンゴソロ教会、「周忌追悼法要」(11日)、文協大講堂が行なわれる。詳細な日程をお伝えする。全て入場無料。



昨年文協であったミサの様子。2011年3月17日撮影

NACCアクリヴァン(Rua Quin, 381)で、震災を
Pires da Mota, 30) テーマとした日本映画
仙台在住のそは職人を招き、蕎麦打ちの表演や
講義のほか、シエフの被
災体験や復興状況につ
ての講演もある。事前申
し込みが必要(Info@
jisa.org.br)。

追悼法要」
11日午後2時、文協
大講堂。地震が発生した
午後2時46分、犠牲者
に対して1分間の黙祷が
捧げられる。
「日伯友好連帯月間」
に関する問い合わせは在
聖総領事館広報文化班
(11・3254・01
00)、追悼法要とミサ
に際しては文協(11・
3208・1755/ハ
セレジナ)まで。

在聖総領事館広報文化
班によれば、同事業は
復興への着実な日本の取
り組み、東北地方の魅力
を紹介することが目的。
「日系社会を含めたバ
ラジルからの暖かい支援
と連帯の意に對し、日本
政府からの感謝の意を伝
えることができれば」と
している。

「東北郷土料理のデモン
ストラーション」
12日午後2時、S.E
小講堂(Rua Sao Joa-
quim do Morumbi)
が演奏。13日から劇場
前でチケットが配布され
る。

自由メソジスト教会
「夕光会」を10日に
自由メソジスト・リベ
ルターネ教会(長田光夫

「震災復興写真展」
12日午後2時、S.E
小講堂(Rua Sao Joa-
quim do Morumbi)
が演奏。13日から劇場
前でチケットが配布され
る。

「映画上映」
17、24両日、文協
小講堂(Rua Sao Joa-
quim do Morumbi)
が演奏。13日から劇場
前でチケットが配布され
る。

1月の群馬県人
総会で企画を発表し
2月



「追悼法要」
11日午後2時、文協
大講堂。地震が発生した
午後2時46分、犠牲者
に対して1分間の黙祷が
捧げられる。
「日伯友好連帯月間」
に関する問い合わせは在
聖総領事館広報文化班
(11・3254・01
00)、追悼法要とミサ
に際しては文協(11・
3208・1755/ハ
セレジナ)まで。

「追悼法要」
11日午後2時、文協
大講堂。地震が発生した
午後2時46分、犠牲者
に対して1分間の黙祷が
捧げられる。
「日伯友好連帯月間」
に関する問い合わせは在
聖総領事館広報文化班
(11・3254・01
00)、追悼法要とミサ
に際しては文協(11・
3208・1755/ハ
セレジナ)まで。